

水に親しめる公園・親水公園で遊ぼう



【光城学区】

■世帯数：4,700 世帯

■人 口：10,314 人

■面 積：0.812k㎡

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 庄内用水を、自然について学ぶことのできる住民の憩いの場として整備するとともに、環境イベントを開催し、住民による維持管理を行う。
- ・ 整備計画から施工までを行政と協働して行った。学区集会所で5回にわたってワークショップを開催し、合計 77 人が参加した。
- ・ 光音寺公園や庄内用水で、水際に植物を植える作業イベントを1回、外来種の駆除を兼ねた除草作業イベント「庄内用水で生きる生物について考えよう」を2回実施した。参加者数は作業イベントに 103 人、除草作業イベントに 203 人。（第1回：104 人、第2回：99 人）

【住民へのPR方法】

チラシの回覧

【アピールポイント】

地域で考え、作り上げた施設であり、都市部の中で自然を感じることが出来る空間。春にはハナショウブが咲き、多くの魚や昆虫を見ることができる。

2 きっかけ、背景

名古屋市における「水の回廊モデル事業」第1号モデル地域に選出されたことをきっかけに、都市部を流れるコンクリート三面張りの庄内用水を、昔親しんだ自然豊かな用水に復元し、住民が自然を学ぶことのできる地域の憩いの場とするために活動を始めた。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、子ども会、老人クラブ、光城小学校
平均約 15 人

(2) 他団体との協力

惣兵衛川を美しくする会、庄内用水を環境用水にする会、光城小学校、(公財)名古屋建設事業サービス財団、名古屋市

(3) 運営協力

学区連絡協議会、庄内用水を美しくする会

4 実施のスケジュール

H22年1月 水の回廊モデル事業のモデル地区に制定される。



3月～11月 第1～4回ワークショップの開催



H23年2月 作業イベントの実施



3月 第5回ワークショップの開催
竣工式典

例年10月 除草作業イベントの実施

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・環境に対する住民の意識が高まり、地域と行政が協働して公園の維持管理を行うこととなった。
- ・地域と地元小学校児童との交流が深まった。
- ・昆虫や魚が増えるなど、自然環境の回復がみられる。



(2) 苦労した点

- ・住民の理解を得ることと、他団体の協力を得ること。

(3) 今後の課題・展望

- ・担い手の世代交代を進めていくことと、他団体との協力体制を構築することが今後の課題。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・公園や川に親しみ、みんなで守っていくためには、子どもの成長過程において実際に携維持活動に関わる機会を設けることが有効である。

